

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|-----|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | 中国語通訳翻訳演習A | | | | | | |
| 担当教員 | 古川 典代 | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 金曜3 | 配当学年 | 3~4 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | 中国語通訳・翻訳 | | | | | | |
| 授業の概要 | 通訳に必要な資質、道具、手法の理解。通訳トレーニングメソッドの理解と習得。簡単な通訳や翻訳の演習でスキルを身に付ける。 | | | | | | |
| 到達目標 | 通訳トレーニングメソッドがわかる。 簡単な通訳や翻訳ができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第一回 中国語通訳についての概要、必要ツール紹介 第二回 通訳トレーニングメソッドの紹介、演習 第三回 クイックレスポンス、ラギング 第四回 シャドーイング 第五回 ノートテイキング 第六回 サマリー 第七回 小テスト 第八回 逐次通訳演習①日常会話 第九回 逐次通訳演習②環境問題 第十回 翻訳演習①中国の文化 第十一回 翻訳演習②式辞挨拶 第十二回 字幕翻訳について 第十三回 同時通訳・ウィスパリングについて 第十四回 既習事項まとめ・期末テスト 第十五回 まとめ | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 日頃から中国語のシャワーを浴びるように心がけてください。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義、演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 日常点 50% 小テスト、定期テスト 50% ただし授業中のパフォーマンスを加味します。 | | | | | | |
| 教科書 | 毎回プリントを用意します。 | | | | | | |
| 参考書 | 『中国語シャドーイング入門』DHC 古川典代著 ISBN4-88724-391-X | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|-----|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | 中国語通訳翻訳演習B | | | | | | |
| 担当教員 | 古川 典代 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 金曜3 | 配当学年 | 3~4 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | 中国語通訳・翻訳 | | | | | | |
| 授業の概要 | 通訳に必要な資質、道具、手法の理解。通訳トレーニングメソッドの理解と習得。簡単な通訳や翻訳の演習でスキルを身に付ける。 | | | | | | |
| 到達目標 | 通訳トレーニングメソッドを活用できる。 日常の通訳や翻訳ができる。 同時通訳について、知っている。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第一回 通訳トレーニングメソッドの効用理解 第二回 クイックレスポンス、リピート 第三回 クイックレスポンス、ラギング 第四回 シャドーイング、スラッシュリーディング 第五回 ノートテイキング、サマリー 第六回 通訳トレーニングメソッド復習 第七回 小テスト 第八回 逐次通訳演習①自己紹介、家族紹介 第九回 逐次通訳演習②スピーチ 第十回 翻訳演習①中国の紹介 第十一回 翻訳演習②日本の紹介 第十二回 同時通訳演習①漢字と中国語 第十三回 同時通訳演習②環境問題 第十四回 既習事項まとめ・期末テスト 第十五回 まとめ | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 日頃から中国語のシャワーを浴びるように心がけてください。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義、演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 日常点 50% 小テスト、定期テスト 50% ただし授業中のパフォーマンスを加味します。 | | | | | | |
| 教科書 | 毎回プリントを用意します。 | | | | | | |
| 参考書 | 『中国語シャドーイング入門』DHC 古川典代著 ISBN4-88724-391-X | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | 中国の生活と文化A | | | | | | |
| 担当教員 | 李 所成 | | | | | | |
| 学期 | 前期 / 1st semester | 曜日・時限 | 木曜1 | 配当学年 | 2 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | 中国人の暮らしや文化を理解する | | | | | | |
| 授業の概要 | 中国の生活や文化などを紹介するDVDを鑑賞したのちに、中国人教師から補足説明を聞いたり、履修者からの質疑に応える。 | | | | | | |
| 到達目標 | 日本と対照しながら、似て非なる文化について理解を深めることができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 中国の生活や文化の概要 第2回 第一課 大学キャンパス 第3回 中国の大学生の様子など 第4回 第二課 南京路歩行者天国 第5回 上海の様子 第6回 第三課 早朝トレーニング 第7回 小テスト 第8回 第四課 豫園 第9回 上海の暮らしと文化紹介 第10回 第五課 国宝ジャイアントパンダ 第11回 パンダの保護状況や四川の暮らし 第12回 第六課 世界遺産 九寨溝 第13回 中国の観光地について 第14回 ディスカッション 第15回 まとめ、感想発表 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 授業で提供すること以外にも興味を持って、積極的に情報収集すること。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 日常点・小テスト 50% 毎回の小レポート（気づきの点・日本との違い・感想）50% | | | | | | |
| 教科書 | DVDで学ぶ中国文化『Chinese Adventure』金星堂 洪傑清著 ISBN978-4-7647-0686-6 | | | | | | |
| 参考書 | 中国で出版されている『中国常識』DVD 中央放送電視大学音像出版社 など | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | 中国の生活と文化B | | | | | | |
| 担当教員 | 北京外国語大学からの招聘教員 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 木曜1 | 配当学年 | 2 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | 中国人の暮らしや文化を理解する | | | | | | |
| 授業の概要 | 中国の生活や文化などを紹介するDVDを鑑賞したのちに、中国人教師から補足説明を聞いたり、履修者からの質疑に応える。 | | | | | | |
| 到達目標 | 日本と対照しながら、似て非なる文化について理解を深めることができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 中国の生活や文化の概要・前期の復習 第2回 第七課 大学のクラブ活動 第3回 日本と中国の大学生の違いについて 第4回 第八課 故宮博物院 第5回 文物について 第6回 第九課 北京798芸術区 第7回 小テスト 第8回 第十課 秦の始皇帝兵馬俑 第9回 古都西安について 第10回 第十一課 少数民族 第11回 中国の少数民族について 第12回 第十二課 麗江古城 第13回 中国の世界遺産や観光地について 第14回 ディスカッション 第15回 まとめ、感想発表 | | | | | | |
| 授業外における学習(準備学習の内容) | 授業で提供すること以外にも興味を持って、積極的に情報収集すること。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 日常点・小テスト 50% 毎回の小レポート(気づきの点・日本との違い・感想) 50% | | | | | | |
| 教科書 | DVDで学ぶ中国文化『Chinese Adventure』金星堂 洪傑清著 ISBN978-4-7647-0686-6 | | | | | | |
| 参考書 | 中国で出版されている『中国常識』DVD 中央放送電視大学音像出版社 など | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | フランスの生活と文化 | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 月曜3 | 配当学年 | 2 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | フランスの国民性とフランス人気質を学ぶ。 | | | | | | |
| 授業の概要 | 在仏経験20年以上のアメリカ人ジャーナリストがフランス人について書いた文章を読みながら、フランスの国民性とフランス人気質を学んで行く。 | | | | | | |
| 到達目標 | フランスの国民性とフランス人気質について説明することができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 親切と不親切 第2回 フランス人の連帯感 第3回 デパートや大型スーパーでの体験 第4回 不親切な店員たち 第5回 自分の非を認めないフランス人 第6回 フランスでミスを認めること 第7回 フランスの役所 第8回 フランス人と教養 第9回 フランスの必須科目 第10回 フランスの家族 第11回 世界一厳しい躰け 第12回 学校生活 第13回 グランド・ゼコール 第14回 フランス語に対するこだわり 第15回 人生の楽しみ。筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | メディアを通して常にフランスとヨーロッパの出来事に触れる。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義と演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 平常点50%、筆記試験50%。 | | | | | | |
| 教科書 | プリントを配付。 | | | | | | |
| 参考書 | 『フランス人 この奇妙な人たち』ポリール・プラット、TBSブリタニカ、ISBN4-484-98110-6 C0098 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | フランスの生活と文化A | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 月曜3 | 配当学年 | 2 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | フランスの国民性とフランス人気質を学ぶ。 | | | | | | |
| 授業の概要 | 在仏経験20年以上のアメリカ人ジャーナリストがフランス人について書いた文章を読みながら、フランスの国民性とフランス人気質を学んで行く。 | | | | | | |
| 到達目標 | フランスの国民性とフランス人気質について説明することができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 親切と不親切 第2回 フランス人の連帯感 第3回 デパートや大型スーパーでの体験 第4回 不親切な店員たち 第5回 自分の非を認めないフランス人 第6回 フランスでミスを認めること 第7回 フランスの役所 第8回 フランス人と教養 第9回 フランスの必須科目 第10回 フランスの家族 第11回 世界一厳しい躰け 第12回 学校生活 第13回 グランド・ゼコール 第14回 フランス語に対するこだわり 第15回 人生の楽しみ。筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | メディアを通して常にフランスとヨーロッパの出来事に触れる。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義と演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 平常点50%、筆記試験50%。 | | | | | | |
| 教科書 | プリントを配付。 | | | | | | |
| 参考書 | 『フランス人 この奇妙な人たち』ポリール・プラット、TBSブリタニカ、ISBN4-484-98110-6 C0098 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | フランスの生活と文化B | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 月曜3 | 配当学年 | 2 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | フランスの政治・歴史・文化 | | | | | | |
| 授業の概要 | フランスの社会と国民性を、政治・歴史・文化の側面から知る。 | | | | | | |
| 到達目標 | フランスの政治・歴史・文化について説明することができる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 フランスの概要 第2回 歴史：近代（1）ルイ18世の時代 第3回 近代（2）フランス革命 第4回 近代（3）ナポレオン戦争 第5回 歴史：現代（1）第2次世界大戦後 第6回 現代（2）アルジェリアの独立 第7回 フランスの政治（1）自由と平等 第8回 フランスの政治（2）左派政権 第9回 フランスの政治（3）極右政党 第10回 フランスと世界（1）第1次世界大戦 第11回 （2）第2次世界大戦 第12回 社会問題（1）：移民 第13回 社会問題（2）：婚姻制度と家族 第14回 文学と映画 第15回 後期のまとめと筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | フランスに関連したあらゆること（ニュース、ファッション、映画、美術、文学など）に関心をもって接しておくこと。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講義と演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 平常点50%、筆記試験50%。 | | | | | | |
| 教科書 | プリントを配布する。 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | フランス文化演習A/Seminar of French Culture A | | | | | | |
| 担当教員 | G. Haraguchi | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 木曜4 | 配当学年 | 4 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | 「フランスの横顔 (Visages de la France)」 - フランスとフランス人を理解する - フランス文化を代表するイメージについて考える | | | | | | |
| 授業の概要 | 各種資料（テキスト、録音、ビデオ）を用いてフランス社会に触れる。 | | | | | | |
| 到達目標 | 習得済みの知識・能力の向上を図る。フランスの社会と文化に関する知識を深める。 | | | | | | |
| 授業計画 | 1- はじめに：自己紹介、授業の進め方と配布資料の使い方の説明。 2- パリとエッフェル塔 3- ラ・マルセイエーズ（フランス国歌） 4- フランス国旗 5- マリアヌヌ（自由の女神） 6- 雄鶏 7- エディット・ピアフ（歌手） 8- ヴィクトル・ユゴー（小説家） 9- アステリックスとオベリックス（フレンチコミック） 10- ギニョール（人形劇） 11- エスカルゴとカエル 12- チーズ 13- ワイン 14- ツール・ド・フランス（自転車レース） 15- まとめ | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 予習： 1- クラスで配布されたテキストを予め読んでおく。 2- 取り上げられるテーマについて予め調べておく。 3- クラスでのディスカッションの材料となる小発表・質問事項を準備する。 毎回の出席が必須。 | | | | | | |
| 授業方法 | 講読/会話 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | レポート40% 小テスト30% オラル30% | | | | | | |
| 教科書 | クラスでの配布資料 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | フランス文化演習B | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 火曜4 | 配当学年 | 4 | 単位数 | 2.0 |
| 授業のテーマ | フランス心理小説の研究とフランス文化の理解 | | | | | | |
| 授業の概要 | 平易なフランス語でリライトされたスタンダールの『赤と黒』を読みながら、フランスの歴史と社会について学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 現代フランス文化の特徴と19世紀のフランス社会について説明できる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 スタンダールと『赤と黒』について 第2回 Leçon 1 Une Femme douce 「優しい女性」 第3回 Leçon 2 Julien aimé 「恋の成就」 第4回 Leçon 3 Un coeur plein d'orgueil 「自尊心の男」 第5回 Leçon 4 Julien le séducteur 「誘惑者ジュリアン」 第6回 Leçon 5 Le Roi à Verrières 「ヴェリエールに王がやって来た！」 第7回 Leçon 6 Soyez heureuse, Adieu. 「今生の別れ」 第8回 Leçon 7 La famille de M. La Mole 「ラモール公爵邸、舞台はパリへ」 第9回 Leçon 8 Au Bal 「舞踏会」 第10回 Leçon 9 Conversation avec Mlle de La Mole 「公爵令嬢マチルド」 第11回 Leçon 10 Une heure du matin 「真夜中の逢引き」 第12回 Leçon 11 Un Orage 「嵐」 第13回 Leçon 12 Condamné à mort 「判決は死刑」 第14回 Leçon 13 Une Grande fin 「大団円」 第15回 後期のまとめと筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 学期中に文庫などで『赤と黒』全編を読むことが望ましい。 | | | | | | |
| 授業方法 | 演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 平常点（50%）＋筆記試験（50%） | | | | | | |
| 教科書 | 開講時に指示する。 | | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 参考書 | |
|-----|--|

| | | | | | | | |
|--------------------|--|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | レクチュール・フランセーズIA | | | | | | |
| 担当教員 | 木谷 吉克 | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 金曜4 | 配当学年 | 3 | 単位数 | 1.0 |
| 授業のテーマ | 書きことばのフランス語の読解 | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>語彙力、長文読解力、聞き取り能力の養成。 時事フランス語の教材を使って、書きことばのフランス語になれることを目指す。 同時に、フランスの社会、経済、政治、文化等の知識も深める。また、聞き取り能力の養成のため、毎回の授業の最後に、ヒアリング教材を用いて聞き取りの練習も行う。未習の文法事項が出てきたら、その都度プリントにて説明する。 授業の最初に出席カードを配る。それにどこまで予習しているかを書いてもらう。 教科書は読んで訳すだけでなく、文法的な説明も問う。したがって、それについてもあらかじめ調べておくこと。</p> | | | | | | |
| 到達目標 | 長文を読解する力がついてくる。フランス語の語彙力が増える。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回：授業の進め方の説明。ヒアリング教材を使っての聞き取りの練習。 第2回：1課「ロワール河の北と南」。聞き取り練習。 第3回：1課の続きと2課「文化を生み出すカフェ」。聞き取り練習。 第4回：2課の続きと3課「エコ・ライフには自転車を」。聞き取り練習。 第5回：3課の続き。聞き取り練習。 第6回：4課「カンヌ映画祭開幕」。聞き取り練習。 第7回：4課の続き。聞き取り練習。 第8回：まとめと中間試験。 第9回：5課「魅力あふれる小国モナコ」。聞き取り練習。 第10回：5課の続き。聞き取り練習。 第11回：6課「海洋環境復元に向けて」。聞き取り練習。 第12回：6課の続きと7課「フランス独自の高等教育機関」。聞き取り練習。 第13回：7課の続きと8課「昼寝の進め」。聞き取り練習。 第14回：8課の続き。聞き取り練習。 第15回：まとめと期末試験。 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 必ず予習して授業に臨むこと。予習の量によって平常点が変わる。 | | | | | | |
| 授業方法 | 演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 中間試験、期末試験で70%、平常点は30パーセントで、これは毎回の予習の量によって決まる。仏検合格者には、最終成績に5点加点する。 | | | | | | |
| 教科書 | 「フランスさまざまーヴァリエテ・フランセーズ」クリスチャン・ボーム ルー、大津俊克、藤井宏尚著、朝日出版社 ISBN978-4-255-35228-2 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | レクチャー・フランセーズIB | | | | | | |
| 担当教員 | 木谷 吉克 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 金曜4 | 配当学年 | 3 | 単位数 | 1.0 |
| 授業のテーマ | 書きことばのフランス語の読解 | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>語彙力、読解力、聞き取り能力の養成。 時事フランス語の教材を使って、語彙力、読解力の向上を目指す。同時に、フランスの社会、経済、政治、文化等の知識を深める。また、聞き取り能力の向上のため、毎回の授業の最後に、ヒアリング教材を使って聞き取りの練習も行う。 授業の最初に出席カードを配る。それにその日の予習量を書いてもらう。平常点はその予習量による。単に日本語に訳すだけでなく、文法的な説明も問うので、それについてもあらかじめ調べておくこと。</p> | | | | | | |
| 到達目標 | フランス語の書きことばに慣れる。フランス語の語彙力がつく。長文を読み解けるようになる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回：授業の進め方の説明。ヒアリング教材を使っての聞き取り練習。 第2回：9課「ツール・ド・フランスの勝者」。聞き取り練習。 第3回：9課の続きと10課「7月14日は革命記念日」。聞き取り練習。 第4回：10課の続き。聞き取り練習。 第5回：11課「サッカーは世界の共通語」。聞き取り練習。 第6回：11課の続きと12課「フランスにおけるイスラム教」。聞き取り練習。 第7回：12課の続き。聞き取り練習。 第8回：まとめと中間試験。 第9回：13課「上昇する出生率」。聞き取り練習。 第10回：14課「PACS法成立」。聞き取り練習。 第11回：15課「労働時間短縮の道乗り」。聞き取り練習。 第12回：16課「ストライキ大国フランス」。聞き取り練習。 第13回：17課「フランスワインの内憂外患」。聞き取り練習。 第14回：18課「ミシュランの三ツ星」。聞き取り練習。 第15回：まとめと期末試験。 | | | | | | |
| 授業外における学習（準備学習の内容） | 単語を調べたらそれでいいというわけではない。その文全体が何を言っているのかを考え、解釈していく必要がある。その文を書いている作者の心の動きを読み取ることが必要である。日本語としておかしいなら誤訳であると思うこと。文脈を読みとって読解していくこと。 | | | | | | |
| 授業方法 | 演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 中間試験、期末試験で70%、毎回の予習が30%。仏検合格者には、最終成績に5点加点する。 | | | | | | |
| 教科書 | 「フランスさまざま－ヴァリエテ・フランセーズ」クリスチャン・ポームルー、大津俊克、藤井宏尚著、朝日出版社 ISBN978-4-255-35228-2 | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | レクチュール・フランセーズIIA | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 前期/1st semester | 曜日・時限 | 月曜5 | 配当学年 | 3 | 単位数 | 1.0 |
| 授業のテーマ | フランス語の読解 | | | | | | |
| 授業の概要 | 日本に住んでいるフランス人の目を通して書かれた日本観察の文章をフランスで読みながら、フランス語の読解能力を養成する。 | | | | | | |
| 到達目標 | フランス語検定3級程度の読解力の養成 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 第1課 Mon quartier (1) 午前 第2回 Mon quartier (2) 午後 第3回 Mon quartier (3) 変化 第4回 第2課 Ma ligne (1) 東横線 第5回 Ma ligne (2) 横浜到着 第6回 Ma ligne (3) 日本の電車 第7回 第3課 Les cafe de mon quartier (1) 日本の喫茶店 第8回 Les cafe de mon quartier (2) メニュー 第9回 Les cafe de mon quartier (3) お客 第10回 第4課 J'aime le tachiyomi. (1) 日本の雑誌 第11回 J'aime le tachiyomi. (2) 女性誌 第12回 J'aime le tachiyomi. (3) マンガ 第13回 第5課 La mode japonaise (1) 日本人と流行 第14回 La mode japonaise (2) デパート 第15回 前期のまとめと 筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習(準備学習の内容) | 必ず予習をして授業に臨むこと。 | | | | | | |
| 授業方法 | 演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 筆記試験56%、平常点44%。 | | | | | | |
| 教科書 | プリントを配布。 | | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 参考書 | |
|-----|--|

| | | | | | | | |
|--------------------|--|-------|-----|------|---|-----|-----|
| 科目区分 | 副専攻科目 | | | | | | |
| 科目名 | レクチュール・フランセーズIIB | | | | | | |
| 担当教員 | 打田 素之 | | | | | | |
| 学期 | 後期/2nd semester | 曜日・時限 | 月曜5 | 配当学年 | 3 | 単位数 | 1.0 |
| 授業のテーマ | フランス語の読解 | | | | | | |
| 授業の概要 | 日本に住んでいるフランス人の目を通して書かれた日本観察の文章をフランスで読みながら、フランス語の読解能力を養成する。 | | | | | | |
| 到達目標 | フランス語検定3級程度の読解力の養成 | | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 第5課 La mode japonaise (3) 第2回 第6課 La television japonaise (1) 第3回 La television japonaise (2) 第4回 La television japonaise (3) 第5回 第7課 La cuisine japonaise (1) 第6回 La cuisine japonaise (2) 第7回 La cuisine japonaise (3) 第8回 第8課 J'aime le Shibuya. (1) 第9回 J'aime le Shibuya. (2) 第10回 J'aime le Shibuya. (3) 第11回 第9課 Les montagnes japonaises (1) 第12回 Les montagnes japonaises (2) 第13回 Les montagnes japonaises. (3) 第14回 第10課 La ceramique japonaise (1) 第15回 後期のまとめと 筆記試験 | | | | | | |
| 授業外における学習(準備学習の内容) | 必ず予習をして授業に臨むこと。 | | | | | | |
| 授業方法 | 演習 | | | | | | |
| 評価基準と評価方法 | 筆記試験56%、平常点44%。 | | | | | | |
| 教科書 | プリントを配布。 | | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 参考書 | |
|-----|--|